令和　4年度（　3年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	局名	創造都市推進局
政策	文化芸術の振興と発信	課（室）名	文化財課
施策	文化財の保存・活用	電話番号	087-839-2660
基本事業	文化財の調査、整備、管理	事業実施主体	市
事務事業	高松城跡整備事業	事業期間	平成 28年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	史跡高松城跡保存整備基本計画に基づき、石垣や披雲閣など各施設の保存修理に努める。 天守や桜御門などの復元に向けて資料調査を行い、復元整備に努める。
4年度概要	桜御門開門式、仮設ヤード撤去工事、報告書執筆補助等 披雲閣耐震補強工事実施設計、建具修繕 月見櫓修理工事等 危険度Ａ石垣レーザー測量 蘇鉄の間展示・講演会

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	4-⑤	事務事業の類型	③インフラ・施設等整備

【事業の目的】

対象（何を）	市民・観光客、整備対象文化財
意図（どのような状態にしたいか）	貴重な文化財である高松城跡において、石垣や櫓の保存修理や建造物の復元整備を行い、史跡高松城跡の価値を顕在化するとともに、来場者数の増加を図る。

【事業の活動】

	活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
①	史跡高松城跡の保存修理・復元箇所数	箇所	3	3	3	3	3
②							

【事業の成果】

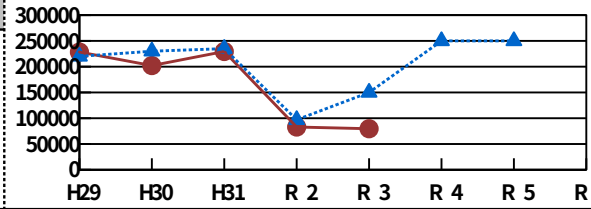
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
玉藻公園の年間入園者数	人	目標値	235,000	97,000	150,000	250,000	250,000
		実績値	229,439	82,966	79,634		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

令和３年度の高松城跡（玉藻公園）入園者数は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休園や移動制限の影響を受け、目標値は達成できなかった。

（目標達成度）



（達成度）
53.1%
18点

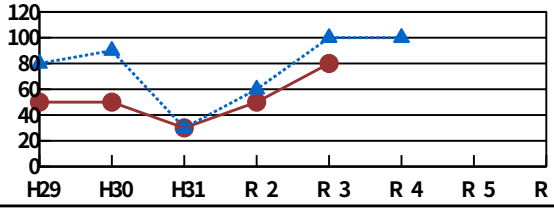
成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
桜御門の復元	%	目標値	30	60	100	100	100
		実績値	30	50	80		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

令和２年度に生じた新型コロナウイルス感染症の影響による桜御門の資材調達の遅れを解消することができなかった。

（目標達成度）



（達成度）
80.0%
28点

【コストの推移】

指標名	単位	平成 31年度（決算）	令和　2年度（決算）	令和　3年度（決算）	令和　4年度（予算）
トータルコスト	[千円]	145,470	113,038	275,224	267,411
(事業費)	[千円]	122,706	90,592	252,574	244,761
(職員人件費)	[千円]	22,764	22,446	22,650	22,650

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

重要文化財披雲閣（蘇鉄の間）の耐震補強工事が完了した。
桜御門復元整備事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、年度内での完了が不可能となったため、令和４年度の完成を目指す。
「史跡高松城跡保存活用計画」を策定した。今後、保存活用計画で示した事業を実施していく必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

重要文化財披雲閣の耐震補強は、利用者の安全確保の上で最重要課題であり、早急かつ着実に実施する。
桜御門復元整備事業についても完成を目指す。
「史跡高松城跡保存活用計画」の中で位置付けた、天守再現に向けた検討を実施する。

令和　4年度（　3年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	局名	創造都市推進局
政策	文化芸術の振興と発信	課（室）名	文化財課
施策	文化財の保存・活用	電話番号	087-823-2714
基本事業	文化財の調査、整備、管理	事業実施主体	市
事務事業	史跡石清尾山古墳群保存・整備事業	事業期間	平成 28年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	国指定史跡石清尾山古墳群は積石塚として全国に知られているが、築造から長い年月を経て積石の崩れなど傷みが進行している。また、史跡指定された古墳上に石棺が露出するなど、特に古墳群の保存において喫緊の課題が山積している。本事業では、まず史跡既指定古墳について、適切な保存・活用を行うための基本方針を定める保存活用計画を早期に策定し、保存と活用の両面から適切な史跡整備を行うものである。加えて、史跡に指定されていない古墳の調査・研究を進めて史跡に追加指定し歴史的価値を顕在化させ、古墳群の適切な保存・活用を図ることを目標に事業を進めるものである。
4年度概要	調査整備会議の運営 鶴尾神社４号墳崖面補強等工事

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	4-⑥	事務事業の類型	③インフラ・施設等整備

【事業の目的】

対象（何を）	石清尾山古墳群
意図（どのような状態にしたいか）	既に国史跡に指定されている積石塚を適切に保存するため、範囲や構造を把握し、より適切に古墳を保存・活用する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
① 調査古墳数（累積）	箇所	2	2	2	5	5
②						

【事業の成果】

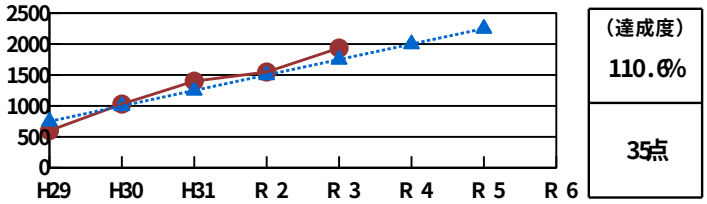
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
見学者数（累積）	人	目標値	1,250	1,500	1,750	2,000	2,250
		実績値	1,400	1,548	1,935		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

パンフレットの配布等を通じて多くの市民に古墳群に興味を持ってもらうとともに、市政出前ふれあいトークや学校教育活動の一環として古墳群の解説を行うことで、目標値に達する見学者を得た。

（目標達成度）

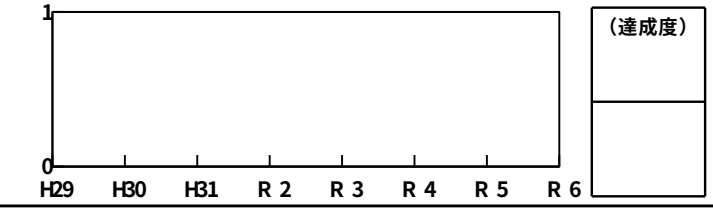


成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）



【コストの推移】

指標名	単位	平成 31年度（決算）	令和　2年度（決算）	令和　3年度（決算）	令和　4年度（予算）
トータルコスト	[千円]	12,761	7,482	9,601	174,179
(事業費)	[千円]	5,173	0	2,051	166,629
(職員人件費)	[千円]	7,588	7,482	7,550	7,550

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

保存に必要な調査箇所については、既に令和４年度の目標値に達しており、見学者数についても配布しているパンフレットの効果もあり、目標値を上回っている。なお鶴尾神社４号墳崖面補強等工事実施設計作成について、新型コロナウイルス感染症等の影響により遅れが生じたため、４年度に繰越して実施する。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

「史跡石清尾山古墳群保存活用計画」について、令和４年度以降に政策会議等を経て、その後、文化庁の認定を受けるものとする。当初計画を基に史跡を確実に保存するとともに、古墳群の見学会や観光部門と連携した古墳群ツアーを実施するなどして、市内はもとより県内外に情報発信を行い、古墳群の歴史的価値を周知する。鶴尾神社４号墳保存対策事業については、これまでと同様に専門家の意見を踏まえ、地元の理解を得ながら実施するものとする。

令和　4年度（　3年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	局名	創造都市推進局
政策	文化芸術の振興と発信	課（室）名	文化財課
施策	文化財の保存・活用	電話番号	087-839-2660
基本事業	文化財の調査、整備、管理	事業実施主体	市
事務事業	史跡・天然記念物屋島保存・整備事業	事業期間	平成 28年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	屋島は、地形上の特徴である「メサ」の標識として、また古代山城屋嶋城、唐僧鑑真創建と伝えられる屋島寺、源平合戦の古戦場の文化財が存在することから、昭和９年１１月１０日に国の「史跡天然記念物」に指定されている。このため、本市は文化財保護法の規定により、史跡天然記念物の管理団体に指定されており、文化財である屋島の保存管理に努める義務があることから、文化庁及び県教育委員会の指導のもと、現状変更等の許可を行っている。しかし、屋島の保存整備を図るには情報量が不足していることから、平成７年度より埋蔵文化財の確認調査を実施し、北嶺千間堂跡や古代山城屋嶋城の城門を確認し、１５年度からは調査対象を屋嶋城に絞って確認調査を行った。３０年度からは屋島に所在する石切丁場跡の調査を実施している。
4年度概要	報告書作成

重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	文化財としての屋島
意図（どのような状態にしたいか）	（１）屋島の史跡等の詳細を把握し、文化財的価値を高める。 （２）文化財である屋島の保存整備を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
① 確認調査件数（累積）	件	6	6	6	6	4
②						

【事業の成果】

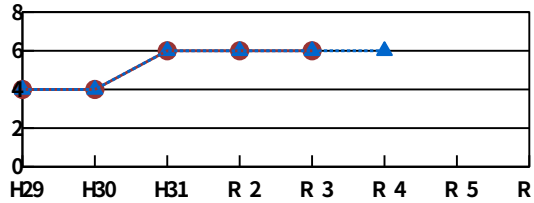
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
確認調査によって内容の詳細が判明した件数（累積）	件	目標値	6	6	6	6	4
		実績値	6	6	6		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

昨年度に引き続き石切丁場跡の写真測量・分布調査を実施し、新たに設定した調査ポイントで遺跡の詳細な状況を把握することができた。なお、調査場所が昨年度と同じ場所のため、調査件数は増減なし。

（目標達成度）



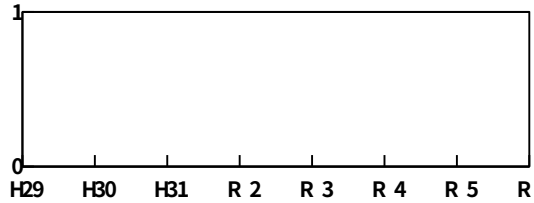
（達成度）
100.0%
35点

成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）



（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	平成 31年度（決算）	令和　2年度（決算）	令和　3年度（決算）	令和　4年度（予算）
トータルコスト	[千円]	11,746	9,850	10,880	9,676
(事業費)	[千円]	4,158	2,368	3,330	2,126
(職員人件費)	[千円]	7,588	7,482	7,550	7,550

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

石場地区の石切丁場跡の測量等と、これまでの調査成果の整理作業を実施した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

調査等で得られた価値を顕在化させるとともに、屋島山上拠点施設等で情報発信を行っていく。

令和　4年度（　3年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	局名	創造都市推進局
政策	文化芸術の振興と発信	課（室）名	文化財課
施策	文化財の保存・活用	電話番号	087-839-2660
基本事業	文化財の調査、整備、管理	事業実施主体	市
事務事業	玉藻公園整備事業	事業期間	令和　2年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	「高松市公園施設長寿命化計画」に基づき、計画的に修繕等を行うことにより、持続的に安全で安心して利用できる都市公園づくりを図る。
4年度概要	・ライトアップ灯改修工事 ・引込柱・引込盤改修工事 ・電線路修繕工事

重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	④インフラ・施設等維持管理

【事業の目的】

対象（何を）	玉藻公園
意図（どのような状態にしたいか）	公園施設の安全性を確保し、長寿命化を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
① 施設修繕等件数	件		4	4	1	16
②						

【事業の成果】

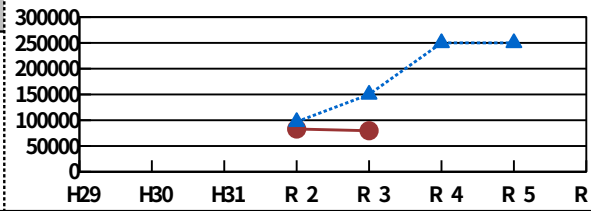
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
玉藻公園の年間入園者数	人	目標値		97,000	150,000	250,000	250,000
		実績値		82,966	79,634		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

令和３年度の高松城跡（玉藻公園）入園者数は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休園や移動制限の影響を受け、目標値は達成できなかった。

（目標達成度）



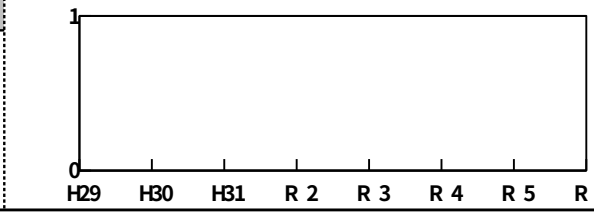
（達成度）
53.1%
18点

成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）



（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	平成 31年度（決算）	令和　2年度（決算）	令和　3年度（決算）	令和　4年度（予算）
トータルコスト	[千円]	0	26,936	23,074	50,108
(事業費)	[千円]		19,454	15,524	42,558
(職員人件費)	[千円]	0	7,482	7,550	7,550

【評価】

評価ランク（A～D）	C	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

「高松市公園施設長寿命化計画」に基づき、玉藻公園の施設整備を、効率化を図りながら計画的に実施することができた。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

引き続き「高松市公園施設長寿命化計画」に基づき、玉藻公園の長寿命化を行う。

令和　4年度（　3年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	局名	創造都市推進局
政策	文化芸術の振興と発信	課（室）名	文化財課
施策	文化財の保存・活用	電話番号	087-823-2714
基本事業	文化財の調査、整備、管理	事業実施主体	市
事務事業	埋蔵文化財公開活用事業	事業期間	平成 28年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	埋蔵文化財調査等によって明らかになった本市の歴史を広く知っていただくことが目的である。平成２７年度には、古代山城屋嶋城跡城門遺構復元工事の竣工に合わせて記念式典を開催したほか、城門のＣＧ復元を実施し、スマートフォンやタブレット端末による現地での仮想体験を可能とした。また、３０年度は、石清尾山古墳群の国史跡追加指定を記念したシンポジウムを開催し、古墳群の歴史的価値を市民に周知する機会を設けた。このほか、市内の埋蔵文化財等を題材とした講演会や現地説明会の実施、パンフレット等の充実、情報発信を積極的に行った。令和元年度は高松藩主松平家墓所が国指定史跡になったことを記念してシンポジウムや現地見学会等を実施した。２年度は石清尾山古墳群に関する情報発信を中心に行い、より多くの市民に認知してもらえる取組を行った。
4年度概要	連載講座開催 ＷＥＢコンテンツ作成

重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	市内の埋蔵文化財調査等によって得られた本市の歴史に関する市民の知識及び教養の向上に繋げる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
① 埋蔵文化財公開活用事業関連行事開催回数	回	83	27	40	60	60
②						

【事業の成果】

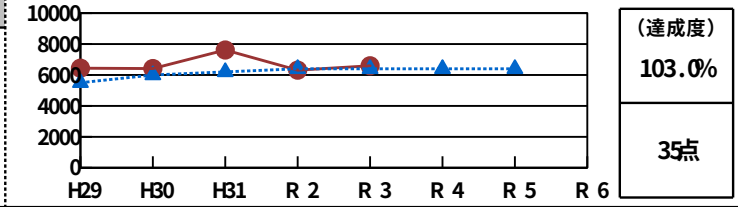
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
埋蔵文化財公開活用事業関連行事参加者数	人	目標値	6,200	6,400	6,400	6,400	6,400
		実績値	7,615	6,312	6,595		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの中止が相次いだことから、開催回数は目標値を下回る結果となったが、事業参加者は目標値を上回った。

（目標達成度）

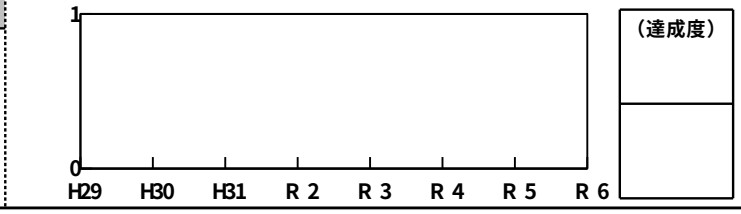


成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）



【コストの推移】

指標名	単位	平成 31年度（決算）	令和　2年度（決算）	令和　3年度（決算）	令和　4年度（予算）
トータルコスト	[千円]	10,255	9,379	9,681	9,624
(事業費)	[千円]	2,667	1,897	2,131	2,074
(職員人件費)	[千円]	7,588	7,482	7,550	7,550

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等の中止が相次いだ。感染状況に左右されないイベント等を計画していく必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

今後も、県や関係市と連携しながら、効果的なＰＲ等を実施し、イベント等への新たな参加者の誘引に努めるとともに、ＩＣＴ技術等の活用により現地に行かなくても講座等が受講できる体制整備を検討していく。